

『6月県議会』でも一般質問に登壇しました。



『6月県議会』は6/7～6/25の会期でした。今回(6/18)の質問は、以下の通りです。

1. 気候変動に対応する筑前海の水産業の振興について

①東シナ海をはじめ、外洋における水産資源を管理するための国際的な枠組みはどうなっているか。その上で、県として筑前海の資源づくり、良好な漁場づくりにどのような取り組み

んでいるのか。

②筑前海の海水温の上昇など海洋環境の変化に合わせた漁業をいかに行うべきか、県の対応と対策は。

③筑前海における、カキ養殖をはじめとする無給餌養殖をいかに振興していくのか、県の対応と対策は。

2. ビートルの対馬混乗寄港便の活用について

本年7月23日から、「ビートル」の一部の便が、対馬市北部の比田勝港を経由し、国内航路としても利用できる「対馬混乗寄港便」となるが、国際航路に国内旅客が相乗りする「混乗」は全国初となる。

ビートル「対馬混乗寄港便」就航を活かし、韓国から本県への誘客、更に、本県の経済、観光、文化交流などの振興にいかに取り組むのか。

「民泊新法」施行に伴い、6月15日より民泊事業が始まりました。

「民泊新法」施行に伴い、6月15日から民泊事業が本格スタートしました。民泊事業者には、①住宅宿泊事業者(オーナー)、②住宅宿泊管理業者、③住宅宿泊仲介業者(ネット仲介業等)が存在することとなりますが、いずれの事業者も「届出」、「登録」が必要で、これを怠ると全て違法事業となり、警察の摘発対象となります。

麻(ま)しん患者の発生に対する県の対応について

沖縄県で麻しん患者が増加した本年4/3から、福岡県は県医師会や保健所と連携し、速やかな対応を行いました。その後、4/13に県内で麻しん患者の発生が確認されたことから、県は、患者本人への疫学調査、接触した可能性のある接触者への健康観察、症状が出た場合の外出自粛要請、速やかな受信勧奨等を実施し、感染拡大防止に取り組み、その後、新たな患者発生が見られないことから、7月5日に収束したことを公表しました。